



東京学芸大学リポジトリ

Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学附属図書館かわらばん No.6

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-08-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京学芸大学附属図書館 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2309/00174323

東京学芸大学 附属図書館 かわらばん

No.6

附属図書館・教職大学院棟増築 リニューアルオープン式典を挙行

東京学芸大学では令和4年1月11日に附属図書館・教職大学院棟増築リニューアルオープン式典を挙行了しました。令和3年5月に建物は竣工していましたが、このたび屋内の整備が完了し、式典の運びとなりました。

式典では、最初に國分充学長の挨拶の後、テープカットを行い、リニューアルオープンを祝いました。

はじめに学長挨拶があり、その後、川手圭一附属図書館長、佐々木幸寿教職大学院長の挨拶があり、来賓の森富子同窓会長、学生代表2名からの祝辞がありました。



学長挨拶では、図書館の拡張は悲願であったこと、今回のリニューアルによって、ラーニングコモンズが大幅に広がり、地下の書庫の所蔵能力も増強され、貴重書も収蔵できるようになったこと、あわせて、3階4階には教職大学院向けのアクティブ・ラーニングスペースが整備されたことが紹介され、同窓会をはじめとする関係者へのお礼の言葉がありました。

川手館長の挨拶では、この間の図書館の活動を総括し、図書館は静から動へと大きな転換をしてきたことを挙げ、ラーニングコモンズへの期待が述べられました。充実した資料を礎とした、知の創造と循環を生み出す場所を目指して、「教えあい学びあう」という増築コンセプトが改めて強調されました。

佐々木大学院長からは、学校教育の現場でもアクティブラーニング型の学びを重視していることを挙げ、図書館の3階4階に合築した教職大学院棟においても、コロナ禍においてグループでの学習が制限されるという厳しい状況であるが、アクティブラーニング型の学びを推進し、本学の目的である「創造力・実践力に富む有為の教育者を養成」に寄与することを目指すことが述べられました。

また、東京学芸大学同窓会からは、増築にあたり図書館に車いす対応のグループワーク用デスクをご寄贈いただきました。森同窓会長からの目録の贈呈も行われました。



最後に、学生代表2名の挨拶がありました。2人からは新しくなった図書館や講義棟を活用してさらに勉学に励みたいとの決意が述べられました。式典の後は、図書館と教職大学院アクティブラーニングスペースの見学会が行われました。

東京学芸大学附属図書館は「デジタル社会の教育を支える「知の循環」の再構築」という使命と目標を掲げ、2022年からの活動を行っていきます。新しくなった図書館で活発に学習がなされることを期待し、皆様をお待ちしています。

学校図書館コーナー ご利用 ください!

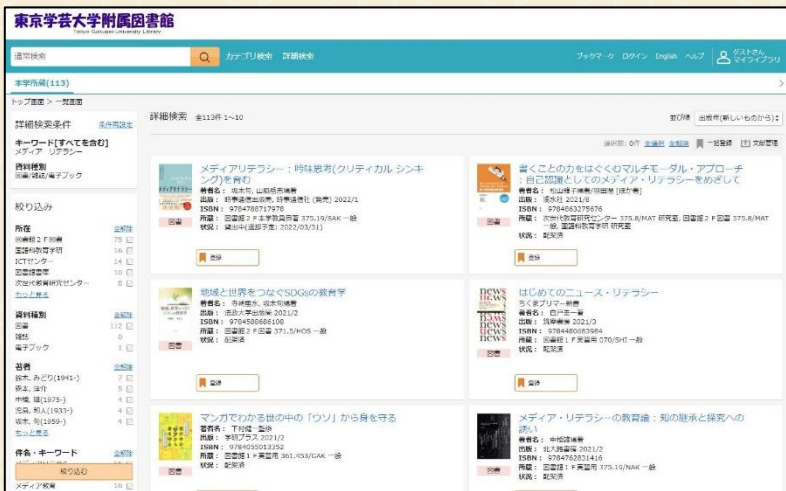
1F絵本・児童書コーナーが、学校図書館コーナーとしてリニューアルしました。

学芸大の附属学校の蔵書などを参考に、今年度新たに約150冊の児童図書を選定・購入しました。読み聞かせに使えるビッグブックや、子どもの英語学習に使える外国語絵本も新しいものを購入し、さらに充実したラインナップとなっております。また、SDGsについて学べる絵本や、プログラミング絵本など、最新の教育内容に沿った図書も新たに加わっています。

学校図書館においてある本を手にとったり、附属学校の図書館の紹介などを見ることで、実際の学校図書館の雰囲気を感じることが出来ます。ぜひご利用ください。



図書館システムの更新を行いました



ICTセンターシステムの更新に伴い、その一部である図書館システムも更新となりました。令和4年の2月14日から2月17日の間、システムを停止し更新作業を実施しました。利用者の皆様には、ご迷惑おかけいたしました。サーバ・端末などの機械の更新のため、図書館サービスのご利用方法に大きな変更はありません。

また、今回の更新で、「東京学芸大学 教育コンテンツアーカイブ(仮称)」を導入することとなりました。IIFなどの新画像公開技術に対応し、往来物・双六等の貴重書画像だけでなく、大学史資料、その他大学の持つデジタル資源の収集・公開を目指しております。公開は来年度に入って早々を予定しております。いましばらくお待ちください。



開催報告 デジタル教科書講習会 「デジタル教科書ってどんなもの？」



本学では、ICTセンターおよび附属図書館で、大学教員と、大学教員の指導のもと学生が利用できるデジタル教科書の整備を進めています。その整備状況を学内の皆さまに知ってもらい利用してもらうために、令和3年12月1日にラーニングコモンズにおいて講習会を実施しました。オンラインでの参加も可とし、学内の教員・学生・職員あわせて36名の皆さまにご参加いただきました。

講習会では、高橋菜奈子学術情報課長(併)情報基盤課長による学芸大でのデジタル教科書サービス状況の報告、東京書籍株式会社・川瀬徹氏による講演「なぜ、デジタル教科書が必要か?」、教職大学院教育実践創成講座・成田慎之介准教授によるデジタル教科書活用事例の講演「数学のデジタル教科書と深い学び」を行い、実習時間には参加者全員がデジタル教科書の利用を体験しました。

附属図書館では、引き続きデジタル教科書の整備を進めており、令和4年度始めにはラーニングコモンズに新たにデジタル教科書コーナーを設置予定です。また電子黒板についても利用できるよう準備中です。教育実習の準備、研究活動などに、デジタル教科書をぜひご利用ください。

【参考】

附属図書館ホームページ>学習・研究支援>教科書・デジタル教科書

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/textbook>

「おもちゃ絵」や「絵双六」の遊び方に注目した電子展示「おもちゃ絵・絵双六で遊ぼう」を令和3年8月から令和4年1月にかけて行いました。今年度の展示は感染症拡大防止のため、展示会場に来て楽しむリアルな展示会ではなく、Web上で資料を展示する電子展示という形で開催しました。本展示は全部で6テーマに分かれており、江戸時代後期から近代にかけて多数制作・出版され、子供たちの手遊びのために描かれた「おもちゃ絵」、「絵双六」をピックアップしています。本展示は今後も図書館Webサイト上で公開しておりますので、ぜひご覧ください。

① 組上絵（くみあげえ）・立版古（たてばんこ）

令和3年8月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/510>



PV数 518

② 両面絵（りょうめんえ） 令和3年9月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/511>



PV数 81

③ 折り替わり絵（おりかわりえ） 令和3年10月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/512>



PV数 97

④ 凧絵（たこえ） 令和3年11月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/513>



PV数 132

⑤ 着せかえ絵（きせかええ） 令和3年12月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/514>



PV数 46

⑥ 絵双六（えすごろく） 令和4年1月公開

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/91>



PV数 80

※PV数…令和4年2月27日までのページ閲覧数。

こんな資料が
展示されているよ！



2021年秋学期学習サポーター活動報告

2021年度秋学期、学習サポーターでは春学期に引き続き2つのチームに分かれて企画を実施しました。



展示企画

触れてみよう、絵本の世界～大人になった今だからこそ、絵本が面白い！～

図書館1階ラーニングcommons内のつみ木ばこにて、「食べ物」「動物」「言葉・詩」「家族」「疲れているあなたへ」の5つのテーマに沿って絵本を中心とした展示を開催しました。

共有ボードに付箋を貼って「好きな絵本」を紹介してもらうことで、利用者同士も交流できる仕組みです。

うさぎチーム



セミナー企画

図書館ってどう使うの？～基本の使い方と教育実習に向けた活用法～（2021年12月23日実施）

図書館の基本的な使用方法と教科書コーナーや教育実習図書コーナーを紹介するセミナーを実施しました。前半はスライドを用いた説明を行い、後半は現地で実際に資料の配置を確認しました。参加者からは教育実習について多くの質問が寄せられました。

セミナーに合わせて教科書コーナーの空間整備も行い、より利用しやすい環境を整えました。

プードルチーム

次年度以降も学習サポーターでは展示やデジタル教科書関連企画を実施予定です。
学習サポーターの活動に関する情報→<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/supporter>



『聴くと聞こえる: on listening 1950-2017』
谷川俊太郎著（創元社、2018）
ISBN : 9784422910345
請求記号：911.56/TAN
資料ID：12021003829

みなさんは、谷川俊太郎氏の作品を、きっとどこかで読んだり、聴いたり、音読したり、歌ったりしたことがあるのではないのでしょうか。「朝のリレー（カムチャッカの若者が）」「生きる（生きているということ）」「春に（この気持ちはなんだろう）」「ことばあそびうた（かっぱかっぱらった）」… さらに翻訳として『スイミー』『マザーグース』『ピーナッツ』… そのことばの世界に惹きつけられた人も多くいると思います。

『聴くと聞こえる』は、氏の初期から近年までにわたる詩のアンソロジーで、音楽に関わる珠玉の46篇が収められています。氏は常に「詩は音楽にあこがれる」と語っており、本書のあとがきに次のように記しています。「若いころから私は詩と音楽を切り離して考えたことはありませんでした。詩も音楽も沈黙・静けさを古里として生まれてくる姉妹なのです。」日々の喧騒から離れて、本書を手にとってみてください。

音楽にあこがれて詩を書いたと言う氏の作品から、さらに数多くの音楽＝童謡・歌曲・合唱曲が生まれています。2017年に谷川氏を講師としてお招きした音楽・演劇講座の合唱講習会が縁で、氏が所蔵していた大量の楽譜が本学に寄贈されました。附属図書館2階に「谷川俊太郎合唱コレクション文庫《声のオーロラ》」として開架で設置され、300冊以上の楽譜が閲覧でき、CD等の鑑賞もできます。こちらもぜひ覗いてみてください。

参考：『声が世界を抱きしめます 谷川俊太郎 詩・音楽・合唱を語る』（東京学芸大学出版会、2018）

東京学芸大学附属小金井小学校 学校図書館紹介

東京学芸大学構内にある附属小金井小学校は校章にちなんで「なでしこ図書館」の愛称で親しまれています。昇降口からごく近い1階に位置する本校図書館は、1年生から6年生まで利用しやすく、休み時間にはいつも多くの児童が読書を楽しんでいます。

「図書館（図書の時間）は楽しい」と感じている児童も多いので、校庭で見つけた虫や植物を調べに来館したり、年に数回設けられている「子供が関わるお弁当の日」に自分でお弁当を作ろうとレシピの本を探しに来たり、学級で飼育する生きものの飼い方がわかる本を借りに来たりと、学校生活の中で知りたいことや調べたいことがある時は図書館へ足を運ぶ姿が日常的に見られます。

現在新型コロナウイルス対策のために、子どもたちを集めた状態での絵本の読み聞かせや、児童同士がくっついて本を読み合うような状況は制限されていますが、そんな中でも大型のモニターに書画カメラで絵本を写して距離をとった読み聞かせをしたり、プレゼント形式の本を薦め合う「本のおくりもの」のイベントを図書委員会で実施したり、工夫を凝らして読書が楽しめる環境を提供しています。



（文責：東京学芸大学附属小金井小学校
司書 松岡みどり）

図書館
かわら
ばん

図書館かわらばん No.6
2022年 3月 28日 発行
東京学芸大学附属図書館
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL:042-329-7223 FAX:042-329-7226
URL:<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>

東京学芸大学附属
図書館公式Twitter
では図書館に関わ
るお知らせについ
ていち早く発信し
ています。



www.twitter.com/gakugei_lib